



● 巻頭言

白金鍍金工業株式会社

代表取締役 笹野 不二夫

我が国経済は、グローバル化や少子高齢化などの構造変化が進む中、金融不安やデフレの進行、更に個人消費の低迷が続き、民間の設備投資はますます減少状態にあり、景気の回復はほど遠く感じられます。

先日、他府県の同業者を見学させて頂いた所、受注量が激減し高価な自動めっき装置が、休止している会社も有り、地域間の景気の格差に驚きました。我が愛知県は、自動車関連部品が他業種に比べて順調に推移しており、他府県に比べれば大変恵まれた地域と感じております。

さらに我が社では、「転ばぬさきの杖」として、常に新しい技術の開発に、「時、人、金」を惜しまない方針で努力してまいりました。

一方環境問題では、平成15年2月1日より土壤汚染法が施行された中、平成18年頃までには6価クロメート処理が全廃になり、3価クロメート処理に変換して行かなければならず、私達の業界及び企業の存続に関わる、大変深刻な問題と受け止めて、我が社では次の様な環境方針を制定し、それを実行させ環境の保護・保全に努め地域社会との共存共栄を目指しております。

白金鍍金工業株式会社は、メッキ・塗装をはじめとする表面処理の事業活動において、環境汚染を防止する為、地球環境に与える影響を認識し、地球環境の保護・保

全に努めます。

- 1 事業活動から環境に与える影響について評価し、環境への負荷を低減する為、自主的改善目標を立案し、計画的な見直しを行い、継続的な改善を、技術的・経済的に可能な範囲で行います。
- 2 環境に関する法規制及び、公害防止協定等を遵守します。
- 3 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した活動に努めます。
 - (1) 環境に配慮した技術開発
 - (2) 資源の節約と再利用の拡大
 - (3) 排水の適正処置・発生量の削減
 - (4) 廃棄物の適正処理・発生量の削減
- 4 環境内部監査を実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進します。
- 5 全従業員に本方針を周知徹底するとともに、必要に応じて外部への公表を行います。

以上の観点から、今回新工場建築の際、緊急災害時の飲料水提供場所を設置し、停電時でも地域の方々が利用できる様に、ソーラーシステムを取り入れポンプの稼働電源と致しました。これからも、地域の方々とのコミュニケーションを図っていくために地域の皆様の利益を考え、如何なる事も実行して行きたいと思うとともに、顧客のニーズに答え成長して参りたいと思います。